



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

首都大学東京大学院理学研究科 教授または准教授

1. 教授又は准教授1名
2. (1) 首都大学東京大学院理学研究科宇宙理論研究室
(2) 南大沢キャンパス
3. 宇宙物理学の理論
4. 宇宙物理学、相対論、力学などの学部・大学院講義科目
5. (1) 2020年4月1日、(2) なし
6. 大学院博士後期課程の教育および研究指導を担当できる方
7. (1) 履歴書（様式3-1：下記からダウンロード）
http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/tmu/、
(2) 研究業績リスト、(3) 主要な研究論文5編以内のコピー、(4) 研究業績等の概要（研究、教育・指導実績、外部資金、社会貢献を含む）2000字程度、(5) 採用後の活動計画（研究、教育、社会貢献を含む）2000字程度、(6) 応募者について所見を伺える有識者2名の氏名・肩書き・連絡先を記載したリスト、(7) 希望する職位、(8) 上記と同一内容の単一pdfファイルのCD-ROMまたはUSBメモリを同封
8. 2019年9月17日（火）
9. (1) 〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1
公立大学法人首都大学東京 総務部人事課
人事制度係

- (2) 公募全般：上記人事制度係

(kyoinsaiyo@jmj.tmu.ac.jp),

専門分野：首都大学東京理学研究科物理学専攻長
安田修 (info-tapap@phys.se.tmu.ac.jp)

10. 簡易書留で郵送；封筒等に「教員公募書類（3117 宇宙物理学理論）在中」と朱書きのこと。
11. 職位・業績・職務内容に応じた年俸制、退職手当は法人退職時に別に支給

核融合科学研究所准教授

1. 准教授1名
2. (1) ヘリカル研究部高温プラズマ物理研究系エネルギー輸送研究部門
(2) 岐阜県土岐市下石町322-6
- 3, 4. 高温プラズマ物理の学術研究に高い見識と意欲をもって取り組む人材を公募する。今回公募する准教授には、LHDにおける重水素プラズマ実験を通じて高エネルギー粒子の挙動に関する研究に従事するとともに、核融合プラズマの学術研究に広く貢献することが求められる。また、大学共同利用機関の職員として協調性を持って研究に従事し、大学院生、若手研究者等の人材育成についても積極的に取り組むことを期待する。
5. (1) 採用決定後のなるべく早い時期
(2) 任期5年、再任可
6. 博士の学位を有すること 等
7. ((2)~(5)については6部必要)
 - (1) 履歴書：原則として市販の用紙を使用し、可能な就任時期も明記すること。（写真貼付、取得学位名を明記の上、連絡先にE-mailアドレスを記入すること。）
 - (2) 研究歴：任意の様式による。2,000字程度。
 - (3) 就任後の抱負：任意の様式による。2,000字程度。
 - (4) 研究業績発表論文リスト：和文と英文は別葉とすること。共著の論文については、共著者名をすべて記入すること。また、それぞれの論文について、レフリーによる審査（査

読)を経たものであるか否かの区別を明確にすること。なお、リスト作成にあたっては、当研究所の「研究業績リスト作成基準」(当研究所ホームページURL:<http://www.nifs.ac.jp/jinji/>)に掲載)によること。

- (5) 論文別刷: 主要な論文5編程度の別刷を添付すること。(別刷がない場合はコピーでも可)
- (6) 推薦書: 推薦者がある場合は推薦書, 又は応募者について参考意見を述べることのできる方2名程度の氏名及び連絡先を記載した文書。いずれも, 任意の様式による。
8. 令和元年10月10日(木)17時(必着)
9. (1) 〒509-5292 土岐市下石町322-6
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係
- (2) 提出書類について
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係
電話0572-58-2013(直通)
研究内容等について
核融合科学研究所ヘリカル研究部
高温プラズマ物理研究系
研究主幹 教授 榊原悟
電話0572-58-2220(直通)
10. 封筒の表に「高温プラズマ物理研究系エネルギー輸送研究部門(准教授)公募関係書類」と朱書し, 郵送の場合は簡易書留とすること。
11. 本人事においては男女共同参画社会基本法の趣旨を尊重します。研究・教育業績や人物の評価において同等と認められた場合には, 女性を採用します。その他詳細は以下を参照ください。
URL: <http://www.nifs.ac.jp/jinji/>

核融合科学研究所助教

1. 助教1名
2. (1) ヘリカル研究部核融合システム研究系原子分子過程研究部門
- (2) 勤務地 : 岐阜県土岐市下石町322-6
- 3, 4. 当該研究部門では, 核融合科学研究所が推進する核融合工学研究プロジェクトの一環として, 原子分子過程に基づき, 第一壁, ダイバータなどのプラズマ対向機器への熱負荷に対する供給不純物の輻射損失による熱負荷低減効果や, プラズマ中の不純物挙動等とそれに関連した原子分子素過程, およびプラズマ壁相互作用素過程についての理論的・実験的研究と原子分子データベースの作成・公開を行っている。
今回公募する助教の任務は, プラズマ中の原子

分子過程の理論もしくは実験研究を推進することであり, これらの知見を活かして不純物供給による周辺プラズマの放射損失効果や, 放射損失によるプラズマ対向機器の熱負荷低減効果等の研究進展に寄与し, 将来の核融合炉にむけた炉設計に貢献することである。また, 国内外の共同研究を通じて, 関連する分野や異分野との融合研究への展開を積極的に進めることも期待する。

5. (1) 採用決定後のなるべく早い時期
- (2) 任期5年, 再任可
6. 博士の学位を有すること 等
7. ((2)~(5)については6部必要)
- (1) 履歴書: 原則として市販の用紙を使用し, 可能な就任時期も明記すること。
(写真貼付, 取得学位名を明記の上, 連絡先にE-mailアドレスを記入すること。)
- (2) 研究歴: 任意の様式による。2,000字程度。
- (3) 就任後の抱負: 任意の様式による。2,000字程度。
- (4) 研究業績発表論文リスト: 共著の論文については, 共著者名をすべて記入すること。また, それぞれの論文について, レフリーによる審査(査読)を経たものであるか, 否かの区別を明確にすること。なお, リスト作成にあたっては, 当研究所の「研究業績リスト作成基準」(当研究所ホームページURL:<http://www.nifs.ac.jp/jinji/>)に掲載)によること。
- (5) 論文別刷: 主要な論文3編以内の別刷を添付すること。(別刷がない場合はコピーでも可)
- (6) 推薦書: 推薦者がある場合は推薦書, 又は応募者について参考意見を述べることのできる方2名程度の氏名及び連絡先を記載した文書。いずれも, 任意の様式による。
8. 令和元年9月30日(月)17時(必着)
9. (1) 〒509-5292 土岐市下石町322-6
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係
- (2) 提出書類について
核融合科学研究所管理部
総務企画課人事係
電話0572-58-2013(直通)
研究内容等について
核融合科学研究所ヘリカル研究部核融合システム研究系
研究主幹 教授 村上泉
電話0572-58-2250(直通)
10. 封筒の表に「核融合システム研究系原子分子過程研究部門(助教)公募関係書類」と朱書し, 郵送

の場合は簡易書留とすること。

11. 本人事においては男女共同参画社会基本法の趣旨を尊重します。研究・教育業績や人物の評価において同等と認められた場合には、女性を採用します。その他詳細は以下を参照ください。
URL: <http://www.nifs.ac.jp/jinji/>

(メールを送信する際は_at_を@に直してください)

10. 応募の際の件名には「ICRR2019-09」を明記してください。
11. 「東京大学特定有期雇用教職員の就業に関する規程」に規定する特任研究員とします。「東京大学年俸制給与の適用に関する規則」に規定する基本年俸給表2号俸(月額300,000円),および業績・成果手当として月額30,000円を支給予定です。(合計基本月額330,000円支給予定)文部科学省共済組合及び雇用保険に加入,通勤手当を支給します。

東京大学宇宙線研究所 特任研究員(プロジェクト研究員)

1. 特任研究員(プロジェクト研究員)・1名
2. (1) 観測的宇宙論グループ, (2) 千葉県柏市,
- 3, 4. 科研費基盤(A)「すばるHSCとSDSSで探る宇宙論的スケールの物質循環」(研究代表者: 東京大学宇宙線研究所大内正己, 研究期間平成27年度から平成31年度)では, 大規模な銀河探索データを用いて, 銀河形成における銀河間物質と銀河の相互作用に関する研究を行う特任研究員(プロジェクト研究員)を募集します。
5. (1) 令和元年12月16日, (2) 令和2年3月15日まで
6. 雇用の時点で博士号を取得している者
7. 以下(1)から(5)までの書類を, Eメールに添付(電子ファイル)で提出してください。(6)の意見書は, 作成者から直接Eメールに添付で応募締切日までに提出してください。応募書類のファイル形式はpdfとします。(応募書類の提出に対し受信した旨の返信をしますので, 必ず当方からの返信の有無を確認してください。)
(1) 履歴書(市販の様式相当, 博士号の有無・取得見込み, Eメールアドレスを明記)
(2) 研究歴(A4版で2ページ以内)
(3) 研究計画(A4版で2ページ以内)
(4) 業績リスト(論文リスト, 国内外での学会等での本人による口頭研究発表リスト等)および主要論文別刷り各1部(3編以内)。提出する論文については論文リストに印を付け, 一目でわかるようにしてください。
(5) 着任可能時期
(6) 本人に関する意見書2通
8. 2019年9月17日(火)正午必着
9. (1) 東京大学宇宙線研究所総務係
Eメール application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp
(メールを送信する際は_at_を@に直してください)
- (2) 東京大学宇宙線研究所 大内正己
Eメール ouchims_at_icrr.u-tokyo.ac.jp

研究会・集案案内

京都大学 市民講座「物理と宇宙」第7回

主催者: 京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻, 基礎物理学研究所

代表: 佐藤昌利

共催者: 日本物理学会京都支部

後援: 京都新聞社, 京都市教育委員会, 京都府教育委員会, 滋賀県教育委員会

主旨: 京都大学で第一線で活躍している教員の方に, 物理学・宇宙物理学の最先端の話題を分かりやすく解説して頂く。

日時: 2019/10/20(日)13:00-17:15

場所: 京都大学百周年時計台記念館 大ホール
(〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町)

内容: 講演プログラム

1. 田島 治(タジマ オサム)(京都大学理学部物理学第二教室准教授)
「宇宙背景放射でみる宇宙のゆらぎと量子のゆらぎ」
2. 森前智行(モリマエ トモユキ)(京都大学基礎物理学研究所講師)
「量子計算と物理」
3. 山本潤(ヤマモト ジュン)(京都大学理学部物理学第一教室教授)
「ソフトマターの構造とダイナミクス」
講演会終了後, 講師の方々と歓談できる講師を囲む会を開く予定です。(先着25名)

対象: 中高生以上

定員: 500名(申込多数の場合は先着順)

参加費: 無料(講師を囲む会については実費として500円)

申込締切: 令和元年10月11日(金)

申込み・問合せ

①ウェブサイトから

http://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/news/public_lecture.html

②電子メールで

shimin@scphys.kyoto-u.ac.jp あて

②はがきで

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学基礎物理学研究所内市民講座係あて
(電話・FAXによる申し込み受け付けは行っておりません)

連絡先: 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学基礎物理学研究所内市民講座係

賞の推薦

2019年度宇宙科学奨励賞公募

公益財団法人宇宙科学振興会では、宇宙科学分野で優れた研究業績を挙げ、宇宙科学の発展に寄与した若手研究者を顕彰し、宇宙科学奨励賞を授与いたします。ここに2019年度の第12回宇宙科学奨励賞候補者のご推薦を募集いたします。推薦要綱の詳細は当財団のホームページ (<http://www.spss.or.jp>) に掲示しておりますが、当奨励賞の概要は以下の通りです。皆様の周りで優れた業績を挙げ将来の活躍が期待される若手研究者をご存知の際には、是非ともご推挙いただきますようお願い申し上げます。

表彰の趣旨: 宇宙理学(地上観測を除く)分野及び宇宙工学分野で独創的な研究を行い、宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績をあげた若手研究者個人を顕彰する。

授与機関: 公益財団法人 宇宙科学振興会

候補者: 上記分野で優れた業績をあげた当該年度の4月1日現在37歳以下の若手研究者個人。候補者の推薦は他薦に限る。

業績の審査: 業績の審査は、推薦理由となる研究業績に関連して発表された論文に基づいて、当財団が設置する選考委員会において行う。

賞の内容: 授賞は原則として毎年宇宙理学関係1名、宇宙工学関係1名とする(ただし適格者のいない場合は受賞者なしとする場合がある)。受賞者には本賞(賞状と表彰楯)および副賞(賞金30万円)が贈られる。

推薦締切日: 2019年10月31日(木) 必着。

表彰式: 選考結果は2020年1月に推薦者と受賞者に

通知するとともに、当財団ホームページにおいて発表する。その後2020年3月6日に表彰式を行い、受賞者には受賞対象となった研究に関する講演をして頂く。

なお、推薦の手続きの詳細については財団のホームページ (<http://www.spss.or.jp>) をご覧いただき、推薦書式をダウンロードして必要事項を記載の上、(1) 候補者の略歴、(2) 論文リスト、および(3) 推薦の対象となる論文の別刷等必要書類を添付の上、電子メールにてご提出下さい。

お問い合わせ先および推薦書送付先:

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1
公益財団法人宇宙科学振興会 事務局
E-mail: admin@spss.or.jp

2019年度日本天文学会林忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも2019年11月8日(金)(必着)です。以下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送してください(論文賞についてはe-mailも可)。なお、封筒には「林忠四郎賞候補者推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記してください。特に返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞とも本会春季年会開催時の会員全体集会にて行う予定です。

林忠四郎賞の推薦は2年間有効です。欧文研究報告論文賞の推薦は毎年リセットされます。「原則として1年に2件以内」と内規に定めがありますので、優れた論文であっても受賞に至らない場合があります。その場合、優れた論文は複数回推薦していただくことを奨励します。

2019年度(第24回)林忠四郎賞推薦要領

この賞は、林忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士より日本天文学会にいただいた寄付を基金にして設定されたものです。

対象: 広い意味での天文学(天体物理学、宇宙物理

学、他の関連テーマも含む)における独創的でかつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

受賞資格: 本年度当初においてすでに本会正会員である者(個人または少人数の研究グループ)。

授賞件数: 原則として1件。

賞状等: 本賞として賞状, 副賞として賞牌(メダル)および賞金(30万円)を授与する。

推薦書の形式: 表題は「2019年度林忠四郎賞候補者推薦書」としてください。A4サイズ用の用紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者(被推薦者, 連名授賞可)について: 氏名(ふりがな), 生年月日, 大学卒業年, 現職および連絡先(電話, FAX, e-mail)
- 2) 授賞対象とする研究の表題(英語表記も併記)
- 3) 推薦者について: 氏名(ふりがな), 現職, 連絡先(電話, FAX, e-mail), 被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨(300字以内)
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として, 推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)

2019年度(第24回)欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は, 良い論文がPublications of the Astronomical Society of Japan(PASJ)に投稿・出版されることを奨励するために設定したものです。なお本賞の選考委員会は, 林忠四郎賞選考委員会が兼めています。

対象論文: 原則として2014年12月から本賞締め切りまでに発行されたPASJに掲載された論文の中で, 独創的で天文学分野に寄与の大きい, 特に優れた論文の著者(共著の場合はすべての共著者)に授与する。

授賞件数等: 原則として2件以内。賞状と副賞を授与する。

推薦書の形式: 表題は「2019年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」としてください。A4サイズの用紙(e-mailでも可)に, 次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補論文について: 論文題目, 筆頭著者名, 出版された巻, ページ, 発行年
- 2) 推薦理由(1,000字程度)
- 3) 推薦者について: 氏名(ふりがな), 現職・連絡先(電話, FAX, e-mail), 被推薦者との関係

4) e-mailで推薦する場合はjimu@asj.or.jp宛に送信して, 受領メールを必ず確認してください。

2019年度(第31回)研究奨励賞候補者推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は, 優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して, 日本天文学会研究奨励賞を授与しています。受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で, 最近5年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日(2019年4月1日)にすでに正会員であつてかつ35歳以下の者

です。毎年3名以内を対象とし, 賞状, 賞牌(メダル)および賞金(10万円)を併せて授与しています。皆様からの多数の候補者の推薦をお待ちしております。選考委員会では推薦された方の中から, 研究奨励賞内規に基づき選考を行い, 候補者を代議員総会に推薦します。

受賞候補者の推薦要領は

- (1) 締切: 2019年11月5日(火)必着
- (2) 提出書類: ○候補者氏名, 会員番号, 現職, 生年月日, ○授賞対象とする研究の表題(英語表記も), ○推薦者の氏名, 現職, 連絡先, ○推薦理由(300文字程度の要旨とA4で2~3枚程度の本文), ○関連論文リスト, ○推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)
- (3) 提出先: できるだけ, e-mailで応募して下さい。e-mailの場合はjimu@asj.or.jp宛にsubject「2019研究奨励賞応募 氏名」としてお送り下さい。また, 提出書類は一つのPDFにまとめ, ファイル名を「2019kenkyushorei full name」として下さい。

郵送で提出する場合は

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台内
日本天文学会研究奨励賞選考委員会
へ送付して下さい。

2019年度(第19回)天文功労賞候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は, 近年多岐にわたっている研究機関外での天文活動, 例えば長年の天体観測や, 突発的な現象の

検出や的確な通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。対象者は、日本在住者、日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体であって、天文学研究を主たる業務としない者とします。日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。天文学会の会員の方々からの候補者(団体)推薦を、広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者(団体)名、功績名(1行程度)、功績の説明を書いていただき、日本天文学会事務所(〒181-8588東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内 Fax: 0422-31-5487・e-mail: jim@asj.or.jp)にお送りください。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、2019年12月20日(金)までにお送りいただくようお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

2019年度(第2回)日本天文遺産 候補推薦のお願い

日本天文遺産選考委員会

日本天文学会では、歴史的に貴重な天文学・暦学関連の遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝え、その普及と活用を図ることをひとつの使命と考え、日本における天文学(以下、暦学も含む)的な視点で歴史的意義のある史跡・事物に対して日本天文遺産の認定を行っています。対象は原則として次のようなものになります。

- (1) 史跡・建造物: 天文学上、重要であった地点や建築・構造物、観測施設など。
- (2) 物品: 天文学上の重要な発見に関与する物品や天文学における歴史的意義が高い物品、観測機器や天文学研究に用いられた測定装置など。
- (3) 文献: 歴史的意義のある天文学関連の文書類など。

認定された日本天文遺産の管理者等には、認定証および認定されたことを示すパネルまたは楯を贈呈します。これにより対象物の歴史的価値を広く世の中にアピールし、その保全への支援となることを期待しています。皆様からの推薦を参考に天文遺産選考委員会が候補を絞り、日本天文学会代議員総会にて決定します。

日本天文学会の会員(正会員及び準会員)の方々か

らの候補の推薦を、広く募集します。推薦書は本誌巻末のものをご利用下さい。以下の日本天文学会のサイトからもダウンロードできます。

http://www.asj.or.jp/asj/prize/boshu_isan.html

必要事項を記入の上、日本天文学会事務所(〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内/Fax: 0422-31-5487/jim@asj.or.jp)にお送りください。送付方法は郵便、Fax、電子メール添付のいずれでも結構です。現在の管理者・所有者に推薦した旨を連絡しておいていただけると助かります。

2019年度の認定対象の発表と認定証授与式は、2020年3月の日本天文学会春季年会会場にて行う予定です。推薦は、2019年9月30日までに学会事務所へ到着したものを有効とします。候補に対しては必要に応じて現地調査を行います。なお「歴史的」とは長い年月を経ているという意味ではなく、長く後世に伝えていくべき価値を有するものと考えていただければと思います。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

なお、推薦された史跡・事物については、2019年度に日本天文遺産として認定されなかった場合でも、選考委員会において日本天文遺産候補リストに登録し、翌年以降の選考対象とします。このため、同一の史跡・事物を、翌年以降に重ねて推薦する必要はありません。ただし、推薦書記載の内容に変更がある場合は、再度の提出をお願いいたします。

会務案内

1. 公益社団法人日本天文学会 2018年度 (2018年4月1日～2019年3月31日) 事業および決算の報告

事業・決算報告書の電子版を日本天文学会ホームページ上(<http://www.asj.or.jp>)で公開しておりますが、書面による配布を希望される方には別途郵送いたしますので、学会事務所までご連絡ください。

	正会員 (内学生)	準会員	団体 会員	賛助 会員	合 計
2018年3月31日	2,118 (505)	1,135	37	39	3,329
入 会	206 (189)	67	1	1	275
退 会	△ 183 (122)	△ 82	0	0	△ 265
移籍(増)	2 (0)	9	—	—	11
移籍(減)	△ 9 (1)	△ 2	—	—	△ 11
正会員へ(学生減)	△ (73)				
2019年3月31日	2,134 (498)	1,127	38	40	3,339

I.2. 2018年度決算の報告

2018年度の経常収益は前年度より13,882,762円増、経常費用は同12,154,275円増、学会の正味財産は340,639円微増し、140,208,591円となりました。受取会費は40,028,000円で289,000円増加しました。

欧文研究報告(PASJ)事業では、Oxford University Pressへの委託以来収支が改善し、本年度も収益が

経費を上回りました。助成事業は賛助会費および寄付によって運営されています。研究奨励賞と早川幸男基金に寄付を頂きました。また、年会の公開講演会は科研費・研究成果公開発表(B)の支援を頂きました。ありがとうございました。事業別決算書内訳は以下の通りです。

(文責 庶務理事：鈴木建，会計理事：鹿野良平)

事業別決算書内訳表

2018年4月1日から2019年3月31日まで

公益社団法人 日本天文学会

(単位：円)

科目	公益目的事業					
	一般事業					
	共通事業	欧文事業	月報事業	年会事業	その他の事業	小計
経常収益計	19,432,433	48,713,284	2,684,440	6,641,500	2,347,509	79,819,166
経常費用計	14,832,839	38,817,108	13,862,985	5,469,568	7,369,832	80,352,332
当期経常増減額	4,599,594	9,896,176	△ 11,178,545	1,171,932	△ 5,022,323	△ 533,166

科目	公益目的事業						公益目的事業計
	助成事業						
	学術交流費事業	内地留学事業	研究奨励賞事業	早川基金事業	林賞事業	小計	
経常収益計	1,350,074	12,715	540,183	4,777,914	549,195	7,230,081	87,049,247
経常費用計	577,594	12,715	540,183	4,777,914	549,195	6,457,601	86,809,933
当期経常増減額	772,480	0	0	0	0	772,480	239,314

科目	法人会計	内部取引消去	合計
経常収益計	19,492,934	0	106,542,181
経常費用計	19,086,502	0	105,896,435
当期経常増減額	406,432	0	645,746

入会・移籍・退会のお知らせ

2019年3月14日、5月18日および6月8日に開催された公益社団法人日本天文学会理事会において、正式に入会・移籍が承認された方、退会が報告された方の人数をお知らせします。

入会 正会員：47名 準会員：15名 団体会員：1名
 移籍 準会員→正会員：5名 正会員→準会員：6名
 退会 正会員：179名 準会員：82名 団体会員：1名

編集委員会より

天文月報表紙デザイン案大募集！

2020年1月号から12月号までの表紙を飾るデザインを募集します。表紙は、題字^{*}(『天文月報』の文字)、号数、日本天文学会のロゴマーク^{*}、記事タイトル、カラー画像(※についてはhttp://www.asj.or.jp/geppou/mis/title_logo.htmlよりダウンロードのうえご利用ください)、および背景イラストから構成されます。その

すべての配置も含めたデザインをお願いいたします。毎号違うイラストでも、同じデザインで色違いでも構いません。具体例は、今年または過去の天文月報をご覧ください。(天文月報のホームページのバックナンバー (<http://www.asj.or.jp/geppou/contents/index.html>) に表紙画像があります。)

■募集要項

- ・天文月報投稿用アップローダーより、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。
- ・カラー：CMYK
- ・ファイル形式不問
- ・雑誌のサイズ：B5判タテ(182ミリ×257ミリ)
- ・縮切り：2019年9月末日
- ・送り先：天文月報編集委員会天文月報投稿用アップローダーまで

■応募規定

- ・募集する作品は、応募者が作成した未発表のオリジナル作品に限ります。
- ・作品の中に第三者が著作権等の権利を有している著作物等を利用していないものとします。
- ・採用された場合、納品された表紙の著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。)を日本天文学会天文月報編集委員会に帰属します。
- ・採用された場合、表紙に使用したオリジナル原画の著作権(著作権法21条から26条の3に規定する権利。)を日本天文学会天文月報編集委員会に帰属します。
- ・採用された場合、著作者が表紙に使用したオリジナル原画を他の目的で使用する場合は、事前にその旨を日本天文学会天文月報編集委員会に知らせ、転載許可を取ってください。
- ・応募にあたりご提供いただいた個人情報は、本要項による採用作品の通知のためのみに使用します。

採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。(12万円/1年分)

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまづ必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで、個数は20個まで送信できます。(それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください)。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。

したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またフォームのチェックや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのアップローダーは使えません。

その場合は従来どおり、toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するご質問はtoukou@geppou.asj.or.jpまでお願いします。

(天文月報編集長)

天文月報記事ご執筆用テンプレート (SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀)

ご執筆にあたりましては、日本天文学会HP内、「天文月報」のページにあります「投稿用Tex/MS Wordテンプレート」をご活用ください。

<http://www.asj.or.jp/geppou/yoko/template.html>

texで執筆される方はtexテンプレートの中から文字コードに応じたものを、MSWordで執筆される方はword用のテンプレートをご利用下さい。詳しくは各readmeをお読み下さい。

※BibTexに対応するテンプレートを作成しました。

Overleaf用でLinux/Macにダウンロードしても使用できます。ぜひご活用ください。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol112** (6文字) の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

松田有一 (委員長), 市川幸平, 岩井一正, 江草英実, 岡部信広, 奥村真一郎, 押野翔一, 小高裕和, 嘉数次人, 小宮山裕, 滝脇知也, 富田賢吾, 中村航, 西塚直人, 秦和弘, 福井暁彦, 前原裕之, 山田真也
令和元年8月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社
定価720円 (本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp
会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会 2019年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)